

〈開催趣旨〉 — なぜ、いま「対話」が必要なのか

2025年11月25日、国際有機農業運動連盟（IFOAM）は、日本で生産・流通が進む「あきたこまちR」について、国際的な有機農業の原則に適合しないとして、海外12カ国13団体と連名で、日本の関係機関宛に書簡を送付しました。



詳細はこちらのページを参照→

「あきたこまちR」は放射線育種により開発された低カドミウム米で、秋田県では急速に置き換えが進んでいますが、その手法や影響をめぐり、国際社会との真摯な対話が求められています。

本オンライン会合では、IFOAM書簡の背景を共有し、日本と国際社会の認識や制度の違いを整理します。有機農業の原則、消費者の選択権、市場の透明性、国際的整合性などの観点から議論し、今後の建設的な国際対話につなげることを目的とします。そして、次回（3月下旬予定）を、IFOAMと農林水産省・農研機構（NARO）・秋田県とによる国際対話へとつなぎ、対立点の確認から、継続する対話・協議の可能性を探ります。



次回開催 | 2026年3月下旬 オンライン講演会(予定) IFOAM ジャパンHPにてお知らせ HP→

継続企画の協賛団体を募集します

この国際対話の企画の趣旨に賛同いただき、運営を支える団体・グループを、広く募集します。協賛金のご協力をぜひお願いいたします。

〈対象〉有機農業関連団体・グループ、消費者団体、流通団体、企業、研究者・専門家ネットワークなど。

〈お願いしたいこと〉

- ・広報協力
- ・本企画の趣旨への賛同表明と団体内・関係者への開催情報の共有・周知

賛同団体名は、開催要項、ウェブサイト、当日配布資料等に掲載予定です。併せて、本会合を契機とする今後の展開や関連する動きについて、情報提供を行なってまいります。*掲載方法（正式名称・掲載順等）は主催者に任じます。

1口10,000円（何口でも）

銀行：三菱UFJ銀行 恵比寿支店

番号：（普通）1336528

口座名：特定非営利活動法人 アイフォーム・ジャパン

「あきたこまちR」で知りたいことは—

- ◆重イオンビーム育種は、自然な育種や、これまでの放射線育種と同じなのか
- ◆なぜ、有機認証の対象になっているのか
- ◆なぜ、表示されていないのか
- ◆日本のコメ輸出に、不利益をもたらさなのか
- ◆「あきたこまちR」の推進は、未来世代を守る「予防原則」を置き去りにしていないか

本オンライン会合によって対話・協議をいたします

〈提携開催〉節水型乾田直播問題院内集会

日時：2026年2月24日（火）16:00～

場所：衆議院議員会館大会議室&オンライン配信

参加費：無料

主催：節水型乾田直播問題を考える実行委員会

お申込み：<https://x.gd/2Q4sy>

お問合せ：OKシードプロジェクト事務局

<https://save.okseed.jp/contact>

第5回オーガニック学校給食フォーラム テーマ～食育:食べることは学ぶこと～

日時：2026年2月26日（木）10:00～16:30

場所：オンライン配信

参加費：1,500円/人（PV7,500円/会場）

お申込み：<https://5thoslfshokuiku.peatix.com/>

お問合せ：オーガニック学校給食フォーラム

info.organickyushokuforum@gmail.com



主催：特定非営利活動法人 IFOAM ジャパン

共催：IFOAM Organics International

協力：OKシードプロジェクト、(一社)オーガニックフォーラムジャパン (特非)全国有機農業推進協議会、オーガニック学校給食フォーラム実行委員会、(特非)日本有機農業研究会



お問い合わせ：IFOAM ジャパン 理事長 徳江倫明・事務局長 伊能まゆ <https://x.gd/JtKZ7>